

## 創立記念日

本日（発行日）は、本校の創立記念日です。

本校は、一九四八（昭和二十三）年いわき市南部、勿来地区の勤労青少年を対象に磐城農業高校勿来分校（定時制課程）として開校しました。

その後、一九五三（昭和二十八）年に福島県立勿来高等学校として独立し、普通科・商業科が相次いで設置されましたが、時代の大きな変化に対応して、定時制課程や商業科は募集を停止し、二〇〇七（平成十九）年からは全日制普通科の高等学校として、現在に至っております。

卒業生はこれまでに一万二千六百有余名。これからも地域に貢献できる有為な人材を教養育ててまいります。

## ICTの活用

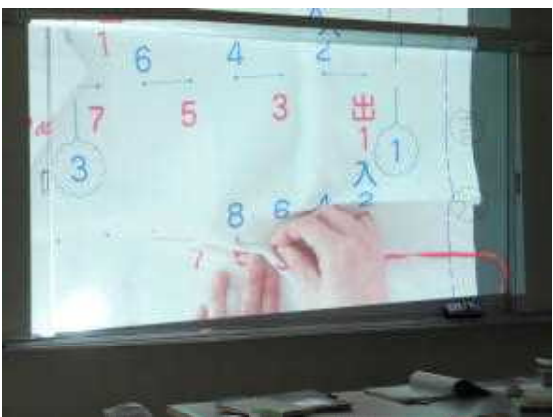
授業を参観するのも校長の業務の一つです。



授業者も慣れたもので、時には、校長を指名し答えさせる暴挙（笑）に出る人もいて、ぼんやりと参観するわけにはいきません。

さて、写真は家庭科の授業ですが、教員はな

にやらロボットアームのような機材の下で、運針をしています。周りに生徒が集まっているのぞき込んでいる様子はありません。なんと、この機材は「書画カメラ」と言



って、実物の映像を黒板に投影できる装置なのです。私と同じ五十代の読者には、OHPの進化したものと説明する方が分かり易いかもれません。

他の教科では、生徒のノートや資料をカメラの下に置いて、その場で添削している様子をそのまま大写して投影できます。実物表示の臨場感により説得力がありますし、この授業の場合、生徒には自分の手元と先生の手元を見比べることが、わかりやすさが増すメリットがあります。



さらに、チームティーチングを行っていますので、二人目の教員が、各机を回って、一人一人の状況に応じて、アドバイスをしています。ICT活用での全体指導と人による個別指導の融合。いいとこ取りの授業です。

# がんばれ！大連合！

写真は、サッカー部です。でも、手元の



プログラムのことを探しても、勿来高というチーム名がありません。

実は、写真に写ってる選手の中で、本校生は三人のみ。平商業高、いわき総合高、遠野高との合同チームです。あらためてプログラムを見直すと「大連合」というチーム名が登録されていました。



それぞれの学校の所在地を考えると、平日に一緒に練習できないのは当然です。土日のいずれかを使って合同練習を行っています。阿吽（あうん）の呼吸のパス回しもなかなか身につくきません。



そんな制限がある練習であっても、高体連地区大会では、単独チームに競り勝ちなど、結果を残していません。

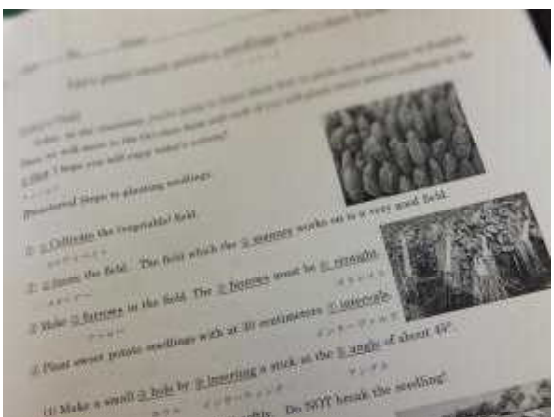
がんばれ！大連合！

# 母語を話すように

ん？農業の実習？ いえいえ、これは、



なんと、英語の授業です。英語の作業手順書を使い、英語で  
"Plant sweet potato seedling with at 30 centimeters intervals."等と先生が説明しています。生徒は最初は「intervals」を「間隔」と訳していますが、作業を繰り返す内に「intervals」は「intervals」のまま体感する、英語を英語で理解する第一歩を踏み出しています。



これって、語学を学ぶ上で大切なことなんです。だって、母語（日本語）習得は体感ベースですから。

# 校長のつぶやき



なんと、sweet potato を狙って狸が出没。映画「平成狸合戦ぽんぽこ」のとおり、狸は人間に化け、体感ベースの流暢な日本語が話せます。しかし、英語担当は狸経験がないため、狸語で警告

「煙の見回り」が追加されることになりました(笑)